



今月の話題：皇位継承儀式が終了し、令和の時代となったが、豪雨災害が続き、多難な幕開けとなった。世界各地の異常気象が報じられ、地球規模の気候の変動が起きているようだ。SDGs という課題がクローズアップされてきたが、間に合うのかどうか懸念されるほどだ。この課題に対し、安易な解釈では解決への道筋は見つけられそうもない。現実には何とどう取り組むのか、具体的に慎重な検討が必要と思われる。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

- ・年末の拡大理事会は 12 月 6 日 (金) 16:00 から、東大松村研究室にて。
- ・サーツ忘年会は、同日 (12 月 6 日, 金) 18:00 から、東大農学部 (弥生キャンパス) の【アブルポア】にて、Tel103-5840-8901
- ・サーツ事務所は 12 月 28 日 (土) ~1 月 5 日 (日) 年末年始の休みです。緊急の連絡は金森事務局長まで。kanamori@psats.or.jp

□ 建築部会：(岡本 直 記)

- ・11 月の建築部会は 11 月 20 日 (水) に開催しました。なお、冒頭、この程、健康上の理由から退会されることになった吉田宏氏からサーツへの深い愛情の込められたご挨拶がありました。氏のこれまでのサーツに対する多大な貢献に対し、深く感謝申し上げます。
- ・寺子屋講座 第 4 回以降の確定テーマ
12/3：モンゴル出張シンポジウム (講師 安部重孝氏)
1/21：「SDGs とサステナブルな建築・社会」ー欧米の規制・認証制度・技術の動向の紹介 (講師 谷口英武氏)
- ・建築リフレッシュ見学会：11/13 「新宮下公園等整備事業」の現場を 12 名で見学した (幹事：安部重孝氏)
- ・なんでも建築相談及び講師依頼等について

- 1) 11/7 NH 社から自社工場建物の総合的健全性維持に関するコンサルタント依頼があり、5 名で現地に行き、先方との打合わせ及び今後の検討方針の意見交換を実施した。今後のサーツ側窓口は中田幸雄氏が担当する。
- ・中国の建設関係者への日本の建設技術習得に関する講習等の支援サポートをサーツに期待する佐藤典子氏から中国からの受け入れ要請の希望内容等が説明された。
- ・10 月の話題提供：中野時衛氏から「第 13 回 日中建築構造技術交流会 (蘭州) の話題など」として、会議における主な論文報告内容 (中国の最新の構造設計事例を含む) の紹介や、敦煌へのツアーの様子など豊富な写真を交え、興味深い報告があった。この交流会には、日本から 50 名以上の参加があったとのことである。

○次回建築部会 12 月 18 日 (水) 17:30~19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

- ・令和元年度林野庁委託事業・デベロッパー「開発者」等のための CLT 講習会・主催建築技術支援協会を全国各都市で実施中ですが、東京は令和 2 年 2/12、追加開催横浜戸塚 (株) 大成建設研究所 1/20、埼玉県飯能市 1/22、で実施いたしますので、部会員の方もご参加ください。
- 次回部会予定：12 月 12 日 (木) 18:00~20:00
ショートスピーチ：大江 任氏「歴史的建造物甲斐路探訪に参加して」資料提供は飯山道久氏による。

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

- ・今年は夏の猛暑と 11 月半ばまでの高温続きで、本来の秋の気候を忘れそうになっていた方も少なくないと思われる。高齢者の住生活で怖いのは、“ヒートショック”。寒い脱衣場で服を脱ぎ、冷たい浴室で“熱い浴槽”に入る、この際のヒートショックが高齢者にとって非常に危険と言われている。高度経年の戸建て住宅、マンションで、この問題が解消されているケースは少ない。東京都健康長寿医療センター研究所の調査 (2014) によると、入浴中に心肺機能停止となる人が最も少ない 8 月のおよそ 11 倍で、この増加の原因はヒートショックによるものとみている。高級住宅や高級マンションでも、結露やカビの問題から浴室回りは風通し良く低い室温にしておく方がよかろうと考え、ヒートショック対策をおろそかにするケースが高齢者に特に多い。全国の入浴中死者数は、8163 人 (H29) で交通事故死者数より多い (10 年で約倍増中) 状況は世界的に際立っている。マンションは外断熱化でも解消できるのであるが、もう少し簡便な個別の設備機器等での対応方策も必要と思われ、集合住宅部会の取組テーマの一つにしたいと考えているので、サーツの皆様のご生活実感からのご意見を聞かせたい。

○次回部会予定：1 月 14 日 (火) 18:00~

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

- ・◇11 月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況
1) 新規引合いは 7 件となりました。(①上鷺宮改修設計、②柏市建物診断、③国分寺市建物診断、④稲城市、長計見直し⑤東陽町設備定期検査補助⑥高尾、特建報告および⑦設備定期検査)
- 2) 今年度、新規受託は 4 件増え 10 件 (①すずかけ台建物診断調査②北区浮間工事監理③西東京市、工事監理④東陽町防火設備定期検査⑤上鷺宮建物診断⑥南大井理事會運営補助⑦稲城市、長計見直し⑧東陽町設備定期検査補助⑨高尾、特建報告および⑩設備定期検査)
受託件数は目標を達成しましたが、決算見通しは繰越案件が多いため、厳しい状況です。

○次回部会予定：1 月 14 日 (火) 18:00~

- ・次回も集合住宅部会との合同開催です。定例議題のほか、今期の決算見通し、2020 年度事業部計画報告など。
- 建築技術誌 12 月号 (11 月 17 日発売) サーツ欄記事
・大江 任：建築施工体験と初めての建設会社
・小鹿紀英、丸山和郎：「マンション耐震セミナー」報告
- お知らせ：令和 2 年 1 月 1 日のマンスリーレポートは年末年始の休日期間を考慮し休刊と致します。

□ 余滴：年ごとに賀状出す数減りにけり 捷三郎